

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
防府市	牟礼・江泊 (末田、堀越、大内、江泊、築留、小浜、前町、沖の原、沖今宿、岸津、今宿、浮野、柳、岩畠、下坂本、上坂本、敷山、上木部、下木部)	令和3年3月	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	236.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	123.2ha
③地区内における71才以上の農業者の耕作面積の合計	79.7ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	16.1ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.4ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の高齢化や、農業機械の更新を契機とした農業離れが進み、担い手不足が深刻な状況。 ・担い手不足により、不作付地、耕作放棄地が増加している。 ・後継者、後継ぎがおらず、農地の受け手の確保が必要。 ・不在地主が多く連絡先が分からない。 ・農道、水路、ため池などのインフラが老朽化し、水利の管理が困難。 ・地域内には市街化調整区域及び農業振興地域白地が多く、農地転用により宅地化や太陽光発電設置が進み、牧場付近の飼料用米作付地が減少している。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地元で新たな就農者の掘り起こしを行う。
他地区や近隣自治体などから入作を希望する認定農業者や認定新規農業者を探していく。
条件の良い、農地については荒廃農地にならないように努力していく。
家族経営農業に勤しみ、農地を維持する。
できる限り小規模ほ場を2反以上のほ場に集約する(ほ場整備ではない方法で)。
牟礼振興協議会が実施している農機具の貸出機能の維持、充実。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

貸付け等の意向が確認された農地は、38,118㎡となっている。

農地利用は、入作を希望する認定農業者や新規就農者の受け入れに努めていく。

中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、農地中間管理機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

保全会の設立を促進し、共同活動による農地維持に努めていく。

隣接集落に働きかけ、集積を進め、経営の安定を図れるよう努力する。

5 中心経営体

7経営体

① 現状の経営面積 10.05ha、237頭

② 今後の農地引受の引受けの意向 13.06ha、250頭

(地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計①-② 3.01ha)